

人口減少社会において 「学びの公共圏」をつくる

遠隔ではない, 学校を越えた協働・対話としてのDCC授業

◇ **概要:** 人口減少社会, とりわけ鹿児島県の教育課題に応える公教育システム「デジタル・シティズンシップ・シティ (DCC)」の可能性を考えます。
あわせて「どこでも・誰でも・誰とでも共に学ぶ」ことを保障する学校空間をつくるために, 私たちにできることを議論します。

◇ **開催日時:**

2026

3.20 (金・祝)

13:00-16:45

◇ **会場:** 鹿児島大学 稲盛会館2階
キミ&ケサメモリアルホール
(受付は12:30~)
オンライン配信あり



対面参加, オンライン参加, いずれの場合も,
QRコードから事前登録をお願いします。
お申し込み後に, 接続情報をお知らせします。

◇ **プログラム:**

<第1部> 13:00-14:00

1. はじめに: DCC事業報告
2. 模擬授業: DCC授業を体験してみよう!
「オンライン×AI×公共的課題で,
学校の授業はこう変わる」

<第2部> 14:15-15:15

3. 実践報告: DCC参加者の声から考える
(1) 学校・地域を越えてつながる
(2) 不登校の学びをデザインする
(3) 総合的な探究の時間をリデザインする
4. 質疑応答

<第3部> 15:30-16:45

5. パネルディスカッション:
「DCCが子ども・学校・自治体・大学にもたらす
価値とは何か
—次期学習指導要領の論点を踏まえて—」
6. おわりに: 総括コメント

【主催】 内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
第3期研究開発テーマ「デジタル・シティズンシップ・シティ:
公共的対話のための学校」(研究開発責任者: 草原 和博)

【後援】 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) (申請中)
鹿児島県教育委員会, 鹿児島市教育委員会, 鹿児島大学教育学部 (申請中)

【会場責任者】 溝口 和宏 (鹿児島大学)



登壇者

<第1部>

1. はじめに: DCCの事業報告

報告者: 草原 和博(広島大学)

2. 模擬授業: DCC授業を体験してみよう!

「オンライン×AI×公共的課題で、学校の授業はこう変わる」

T 1 : 草原 和博

T 2 : 川口 広美, 金 鍾成, 滝沢 潤, 隅谷 孝洋, 神田 颯(広島大学)ほか
来場者のみなさまには、学習者の立場からDCCをご体験いただきます。

<第2部>

3. 実践報告: DCC参加者の声から考える

(1) 学校・地域を越えてつながる

報告者: 荒木 保徳・今福 茂(鹿児島市立桜峰小学校)

芝原 理正(徳之島町立尾母小学校)

進行: 川本 吉太郎(広島大学)

(2) 不登校の学びをデザインする

報告者: 瀧本 耕平(東広島市教育委員会)

進行: 三井 成宗(広島大学)

(3) 総合的な探究の時間をリデザインする

報告者: 熊本県立済々黉高等学校・高校生

長崎県立佐世保南高等学校・高校生

広島県立広島国泰寺高等学校・高校生

進行: 宇ノ木 啓太(広島大学)

4. 質疑応答

<第3部>

5. パネルディスカッション: 「DCCが子ども・学校・自治体・大学にもたらす価値とは何か —次期学習指導要領の論点を踏まえて—」

進行: 草原 和博(広島大学・DCC研究開発責任者)

パネル: 大迫 誠(鹿児島市立桜峰小学校・校長)

木田 博(鹿児島市教育委員会・教育DX担当部長)

佐々木 恵美(鹿児島市立前之浜小学校・校長)

蓮浦 顕達(広島県教育委員会事務局・教育センター所長)

福 宏人(徳之島町教育委員会・教育長)

溝口 和宏(鹿児島大学・教育学部長)

6. おわりに: 総括コメント

コメンテーター:

西村 訓弘(三重大学・SIPプログラム・ディレクター)

河村 雅之(内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 大学改革・ファンド担当室企画官)



DCC

デジタル・シティズンシップ・シティ